

2019年4月8日

各位

会社名 株式会社 きよくとう
代表者名 代表取締役社長 牧平 直
(コード：2300、東証JASDAQ)
問合せ先 常務取締役管理本部長 弓削 道哉
(TEL. 092-503-0050)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年2月期決算において、下記のとおり特別損失の計上を見込むとともに、2018年4月13日の2018年2月期決算発表時に開示した2019年2月期通期（2018年3月1日～2019年2月28日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の計上の内容

当社の保有する固定資産のうち、収益性の低下が見られた工場について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失103百万円を計上いたします。

2. 当期の業績予想数値の修正（2018年3月1日～2019年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,000	245	350	216	41.05
今回修正予想（B）	6,679	221	332	120	22.93
増減額（B－A）	△320	△23	△17	△95	－
増減率（％）	△4.6	△9.6	△5.0	△44.1	－
（参考）前期実績 （2018年2月期）	6,636	199	289	136	25.58

3. 修正の理由

ビジネスファッションのカジュアル化や暖冬による冬物衣料着用機会の減少などで、クリーニング総需要が減少傾向にある中、当社は、営業面においては、期初の衣替えシーズンに合わせた「春のプレゼントキャンペーン」や当社のオリジナルの洗いである「オゾン&アクア/ドライ」の1億点突破キャンペーン等を通して、付加価値商品の販売拡大と特別会員数の増大に努めました。また、新しいサービスとして、ビジネスマンや共働きのお客様などのニーズに合わせて、店舗の定休日や営業時間外でも利用可能な「無人お渡しシステム」の設置台数は当事業年度中に13台増の22台となりました。

店舗政策では、営業所勉強会を増やし、当年度より直営店の営業強化のために新しい店長制度を創設し、店舗運営・接客指導を強化しました。また、店舗のスクラップ&ビルドで不採算店49店舗を閉鎖し、新たに12店舗をオープンして当事業年度末の店舗数は638店舗（前事業年度末に比べて37店舗の減少）となりました。

このように諸施策を図りましたが、クリーニング総需要の減少に加え、夏場の台風や記録的な長雨など天候不順の影響を受け、その結果、売上高、営業利益、経常利益で前年実績を超えたものの、2018年4月13日に発表した通期の業績予想に対し、売上高は6,679百万円に留まり、売上高の未達と人件費の上昇により、営業利益は221百万円、経常利益は332百万円と下回る見込みとなりました。また、当期純利益は特別損失として、上記の減損損失の計上を見込むことなどにより、当初予想より95百万円減少の120百万円となる見込みです。

*上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上